

「統計局ホームページを通じた統計教育の拡充に関する懇談会（第1回）」議事概要

- 1 日 時 平成21年7月24日（金） 10:00～12:00
- 2 場 所 総務省第二庁舎 3階第1会議室
- 3 出席者 渡辺座長、小口委員、菅野委員、富永委員、中本委員、西仲委員、西村委員、藤井委員
総務省統計局：川崎統計局長、三上統計情報システム課長、高田調査企画課調査官ほか
- 4 議 題 (1) 懇談会の運営について
(2) 社会における統計の役割について
(3) 統計局で作成している主な統計について
(4) その他
- 5 配付資料
資料1 統計局ホームページを通じた統計教育の拡充に関する懇談会開催要領
資料2 統計局ホームページを通じた統計教育の拡充に関する懇談会の運営について（案）
資料3 社会における統計の役割
資料4 統計局で作成している主な統計について
資料5 議論のポイント（案）

6 議事の概要

- (1) 懇談会の運営について、資料2のとおり了承され、懇談会は公開しないが配付資料は懇談会終了後公表すること、また、懇談会における議論の概要については、事務局で取りまとめの上、速やかにホームページ上で公開することとされた。
- (2) 「社会における統計の役割」について、統計局から説明。
- (3) 「統計局で作成している主な統計」について、統計局から説明。
- (4) 統計局ホームページ及び統計局の統計学習サイトについて意見交換が行われた。

主な意見

- 「老年人口」等の統計用語は生徒になじみがないので、そうしたキーワードを使って必要な統計データを検索することは難しい。そのような用語を知らなくても、探しているデータにたどりつけるような検索機能がほしい。
- 「国勢調査」や「家計調査」というトピック別の並べ方とは別に、「平均値と中央値」といった指導要領のキーワードから逆引きして適当な教材を見つけることができる機能があればありがたい。現状では、統計局のサイトに統計教育に適した素材があっても、そこまでたどりつくのが難しい。
- 教師が統計を教える際にヒントを与えてくれるようなページがあると有用。
- 一つのテーマを調べたら、そこから発生する疑問に関連するテーマの情報にも誘導する機能がほしい。その点、気象庁のサイトなどが参考になる。
- 統計局の「なるほどデータ for きっず」のデータでは、まずグラフが示され、その後原数値が出てくるが、数学教育では「このデータをどうグラフ表示するか」

というステップを踏むことも大事なので、まずは原数値の表を示してもらい、ボタンを押すとグラフが表示される、という機能があればありがたい。

- 「なるほどデータ for きっず」には、様々な面白いデータが掲載されており、高校生や大学生にも十分に役立つが、ネーミングが子ども向けであり、再考の余地がある。
- (5) 今後の進め方として、各委員がそれぞれ、統計局ホームページを活用した中学・高校用の授業モデルを作成してそれを統計局ホームページで紹介することとし、次回会合までに、各委員が授業モデルのアウトラインを作成することとされた。

※ 次回の日程については、今後調整。

※ 文責：事務局（今後、修正される場合があります。）